

【資料12】

アジア競技大会代表枠決定に至るの JOC との折衝経緯

12月1日よりカタールドーハで開催される第15回アジア競技大会セーリング選手団決定の経緯と JOC の派遣に対する考え方は以下の通りです。

1. アジア大会実施種目

男子

| 種目 | 選手数 |
|-----------------|-----|
| OP 級 | 1 |
| Mistral 級 Light | 1 |
| Mistral 級 Heavy | 1 |
| 420 級 | 2 |
| 470 級 | 2 |
| Laser 級 | 1 |
| 小計 | 8 |

女子

| 種目 | 選手数 |
|-----------|-----|
| OP 級 | 1 |
| Mistral 級 | 1 |
| 420 級 | 2 |
| 470 級 *注1 | 2 |
| 小計 | 6 |

OPEN

| 種目 | 選手数 |
|----------------|-----|
| Laser Radial 級 | 1 |
| Laser 4.7 級 | 1 |
| Hobie 16 級 | 2 |
| Match Racing | 5 * |
| 小計 | 9 |
| 選手総計 | 23 |

* Beneteau7.5 4-5 Sailors
Total weight 325Kg

2. JOC 選手団編成基本方針

JOC から各競技団体に以下の編成方針が通達された (注2)

1. 日本代表選手は、当該競技団体の責任において、国民の期待に応え得る競技力を持ち、メダルおよび入賞(注3)が十分に期待できる者として推薦された中から選考する。
2. 日本選手団は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしく、かつアジア各国との友好と国際親善に寄与できる選手・役員をもって編成する。

注1

当初は種目になし、後日決定

(注2)

トリノオリンピックの不振を受け、競技成績目標が最初に明確に明示された

(注3)

アジア大会の入賞は6位以内

3. JSAF 選手団編成方針（案）

メダル獲得または6位以内入賞のJOC編成基本方針とオリンピック特別委員会重点目標（注4）を重ね合せ種目別優先順位を以下の通りとしJOCと折衝を行なった。

1. 種目別優先順位

(1) オリンピック種目（注5）

- ・470（男子）
- ・レーザー

(2) メダル獲得有望種目

- ・マッチレース

(3) 将来に繋がる種目

- ・420（男女）
- ・OP（男女）

(4) その他種目

- ・ミストラル（男女）
- ・ラジアル
- ・ホビー16
- ・レーザー4.7

4. JOC との個別折衝

2006年4月27日（木）の第1回個別折衝から数度に渡る折衝を行いました。派遣に対するJOC基本は以下の通りです。

- ・トリノオリンピックの不振から厳しい編成方針を取る

派遣種目についての優先順位は

- (1) 派遣種目はオリンピック種目で好成績（6位以内入賞）が挙げられる種目
- (2) 将来のオリンピックに繋がる種目（ゴールドプラン一貫指導が基本）
- (3) その他の種目（メダル獲得が確約出来る種目）

役員派遣

厳しい方針を取る（トリノで役員数が多すぎるとの批判多々あり）

この基本方針を受けて、JSAF基本方針を説明しましたがJOCの方針との違いは上記(2)と(3)の順位が違いメダルが確実なマッチレースに対して否定的な意見であった事です。

その他、選手選考の方法、選手決定後の強化方針、本大会での目標順位等々の質問を受けた折衝でありました。

(注4)

オリ特重点目標(抜粋)

2. アジア大会(2006年12月カタール)の
オリンピッククラス全種目金メダルの獲得

4. JOCゴールドプランに基づく次世代を担う
選手の育成・強化

(注5)

470級女子およびレーザーラジアル女子が
実施される事となった場合はオリンピック種目
として優先順位(1)に入れる

5. 選手数の決定

個別折衝の結果、オリンピック種目3名（470男子、レーザー）、次世代を担う選手6名（420男女、OP男女）の9名

オリンピック種目以外のミストラル女子の計10名のみ認められ、他はマッチレースも含め否認されました。

決定時に470女子が採用された場合は追加派遣を検討するとの確約を得ました(注6)

6. 役員数の決定

選手数の20%（小数点以下切り上げ）で3名となりました。(注7)

中学生のOP、高校生の420、一般と選手層が多岐に渡り、抗議への対応等からアディショナルオフィシャルを1名派遣する事としました。

7. JOCの派遣に対する考え

JOCとの折衝の中でオリンピック、アジア大会への厳しい派遣姿勢が見えました。

アジア大会は参加枠の縛りが無い事もあり厳しい姿勢であったとも考えられます。

今後、2008年北京オリンピック参加についても同様の厳しい派遣姿勢が予想されます。

JSAF（オリンピック特別委員会）としては枠を獲得した種目の参加については最大限の努力をしますが、最終判断はJOCであり現時点で確約は出来ません。

まず2007年に何としても上位成績で国枠を獲得する努力を皆で進めていきたいと思えます。

2008年に下位成績で枠を獲得した場合、枠を取ったからと言ってオリンピックに必ず参加出来るとの保障はないと考えられます。

(注6)

470女子の実施が決定、選手数12名

(注7)

アディショナルオフィシャルは選手数の35%

以上